

# 松支図書館だより 3月号

平成29年3月1日

熊本県立松橋支援学校図書館発行

明るい陽光に甘酸っぱい沈丁花の花、雀のさえずりに春の気配を感じるようになりました。

3月2日は高等部専門学科、14日は小・中・高等部普通科の卒業式です。卒業生のみなさん、“卒業おめでとうございます！”ご両親や先生方、これまでに出会ったたくさんの人に感謝の気持ちを忘れず自分の「夢の実現」のために一步一步前を向いて歩いて欲しいと願っています。

【今年度貸出ベスト3】2017/2/20までの統計

順位	貸出回数	書名	著者
1位	6回	世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ	くさばよしみ／編
1	〃	朝が来る	辻村深月／著
1	〃	フランス人は10着しか服を持たない	ジェニファー・L・スコット
2位	5回	火花	又吉直樹／著
2	〃	ママがおばけになっちゃった！	のぶみ
2	〃	薬で病気は治らない	宇田川久美子
2	〃	君の臓腑をたべたい	住野よる
3位	4回	ハグしてぎゅっ	ナンシー・カールソン
3	〃	お仕事のマナーとコツ：暮らしの絵本	西出博子／監修
3	〃	話し方のマナーとコツ：暮らしの絵本	杉山美奈子／監修
3	〃	りゆうがあります	ヨシタケシンスケ

◎◎◎◎◎文化委員会が開かれました！◎◎◎◎◎

委員会活動

2月24日5校時に今年度最後の文化委員会がありました。

インフルエンザの学級閉鎖の影響で、生徒数が少なく心配しました。この1年間でたくさん本を読んだ人を各学部ごとに調べて、応用紙に書きました。また、文化委員になって良かったことを一人一人発表してもらいました。本棚を整理すると心が落ち着く、協力してしおりづくりやお守りづくりをしたこと、カウンター当番の時借りに来る人が少なくて残念、本への関心が増えた等の貴重な意見を聞くことが出来ました。

☆☆☆☆卒業生に贈る本☆☆☆☆

【置かれた場所で咲きなさい】渡辺和子／著：ノートルダム清心学園理事長

卒業して社会人になるあなたに、“心を支える”1冊として覚えておいて欲しい1冊です。その中から・・・

☆希望には叶わないものもあるが、大切なのは希望を持ち続けること。

☆“あなたが大切だ”と誰かにいってもらえるだけで、生きてゆける。



☆☆☆ リレーエッセイ NO58 ☆☆☆

「私と読書」

小さい頃の私は、読書が嫌いでした。漫画さえ、自分から進んで読むことはありませんでした。そんな私に母は、小学生の頃、毎日読書の時間を決め、一緒に読んでいたことを思い出します。しかし、いつも読書の時間が早く終わらないかなと思って読んでいました。そんな感じですので、中学生の時は、図書室から3年間を通して自分で本を借りたことはありませんし、むしろそのことを誇りに思うくらいでした。それほど本とは無縁の生活を送っていました。そんな私も本を買って自分から読書をするようになったのは大人になってからです。読む本は、ビジネス書や実用書など生き方に関する本が多いです。その中で印象に残っているものを3つ紹介したいと思います。

1つ目は、京セラの創業者である稲森和夫さんの本です。稲森さんの生い立ちから、いろいろな体験やその時の思い、そして今に至るまでの考え方が書いてあります。特に高校や大学での受験の失敗や、結核という死に至る可能性のある病やまいにかかったこと、仕事にやりがいを見いだせず苦勞の多かった少年期や青年期の出来事を乗り越えて、成功するまでの内容がとても共感できるものでした。「生き方」「パッション」「君の思いは必ず実現する」などの本です。特に「君の思いは必ず実現する」は若い人向けに書かれた読みやすい本です。機会があれば読んでみてください。



次に「夜と霧」です。これは精神科医のビクトール・フランクルという人が書いた本です。第2次世界大戦のナチスによるユダヤ人の強制収容所生活を、実際に生き抜いた本人が書いた本です。収容所におけるいつ死ぬか分からない状態におかれた人間の心理状態や出来事について書かれ、その中でどんな人が、生き残り、どんな人が死んでしまったのか。また、どん底の状態でも、どんな心理的態度が希望へとつながるのかなどが示されています。この本は、東日本大震災の後に被災地でとにかくよく読まれた本でもあったそうです。家族や知人、財産などを無くしどん底なになった状態で、それでも生きる希望を与えてくれる本だったようです。

最後は「選択理論を学校に」という本です。選択理論というのはアメリカの精神科医ウィリアム・グラッサー博士によって提唱された理論です。人間には5つの基本的欲求（愛・所属、力（承認）、自由、楽しみ、生存）があり、その基本的欲求を満たすことが幸せにつながる。また、人はそれぞれの欲求に違いがあり、度合いも違う。それが願望として表れるのであるが、その願望が満たされなときにストレスになったり、寂しさを感じたり、虚しさを感じるのだというのです。そこでその欲求を満たすために考え方や行動を自分で選択するのですが、ここで大事なことは「人と過去は変えられない、変えられるのは自分と未来だけである」として、自分の願望を明確にし、その願望に効果的な考えや行動を選択していくことで、感情が満たされていくというのです。この理論に乗っ取って生徒の欲求（願望）を満たしていき、よりよい学校生活を築いていくというものです。教師としてとても勉強になる本でした。



これらの本は全て私が生きていくための指針となっています。これからも本を読み、自分の生きる糧となるものを得ていきたいと思っています。